

## 第11章 うるま市自転車ネットワーク策定協議会

### 11-1 協議会の目的

本市が文化・観光拠点として位置付けている東部地域（世界遺産勝連城跡を核とした、勝連半島、海中道路、島しょ地域）において「第2次うるま市観光振興ビジョン」の基本理念で掲げる「”住んで自慢”のまちづくり、”訪れて感動”を与える・うるま」を実現するため、地域住民や観光客の自転車利用環境のあり方について検討を行い、本市の将来都市像と整合のとれた自転車ネットワーク計画の策定及び自転車利用促進策の検討を目的とする。

### 11-2 協議会の開催

#### 11-2-1 協議会内容

うるま市自転車ネットワーク計画策定協議会は、全2回開催し、うるま市東部地域の計画について協議・策定した。

各回の協議内容を以下に示す。

表 11-1 うるま市自転車ネットワーク計画策定協議会内容

	開催日時	協議内容
第1回 幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年2月13日（火）</li> <li>・13時30分～15時30分</li> <li>・うるま市役所本庁舎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① うるま市自転車ネットワーク計画策定に向けたスケジュール（案）について</li> <li>② うるま市の現状と課題について</li> <li>③ うるま市自転車ネットワーク計画の検討方針について</li> </ul>
第1回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年2月20日（火）</li> <li>・13時30分～15時30分</li> <li>・うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく</li> </ul>	
第2回 幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年5月29日（火）</li> <li>・14時00分～16時00分</li> <li>・うるま市役所本庁舎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自転車ネットワーク及び整備形態について</li> <li>② 自転車利用促進に向けた取組みについて</li> <li>③ 自転車ネットワーク計画の今後の取組みについて</li> </ul>
第2回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年6月5日（火）</li> <li>・14時00分～16時00分</li> <li>・うるま市役所本庁舎</li> </ul>	

## 11-2-2 協議会開催状況

うるま市自転車ネットワーク計画策定協議会の開催状況を以下に示す。



図 11-1 第1回協議会  
(左：幹事会、右：委員会)



図 11-2 第2回協議会  
(左：幹事会、右：委員会)

## 11-2-3 委員会及び幹事会名簿

委員会及び幹事会名簿を以下に示す。

表 11-2 うるま市自転車ネットワーク策定協議会（委員名簿）

		所属	職名	氏名	
1	委員長	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース	准教授	第1回	神谷 大介
				第2回	
2	委員	沖縄県 サイクリング協会	理事	第1回	森 豊
				第2回	
3	委員	一般社団法人 うるま市観光物産協会	副理事長	第1回	瑞慶覧 朝成
				第2回	
4	委員	うるま市 勝連地区 自治会 代表	自治会長	第1回	牧門 司
				第2回	
5	委員	うるま市 与那城地区 自治会 代表	自治会長	第1回	宮城 政和
				第2回	五嶋 眞智子
6	委員	沖縄県 土木建築部 道路管理課	課長	第1回	喜屋武 元秀
				第2回	
7	委員	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所	技術総括	第1回	大城 太
				第2回	
8	委員	沖縄県 うるま警察署 交通課	課長	第1回	上地 洋史
				第2回	友利 元和
9	委員	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	課長	第1回	渡久山 透
				第2回	
10	委員	うるま市 企画部	部長	第1回	天願 雅也
				第2回	
11	委員	うるま市 経済部	部長	第1回	佐久川 篤
				第2回	
12	委員	うるま市 市民部	部長	第1回	上門 はるみ
				第2回	当間 重俊
13	副委員長	うるま市 都市建設部	部長	第1回	島袋 房善
				第2回	
14	委員	うるま市 教育委員会 指導部	部長	第1回	志堅原 敦彦
				第2回	盛小根 完

表 11-3 うるま市自転車ネットワーク策定協議会（幹事名簿）

		所属	職名	氏名	
1	幹事	沖縄県 土木建築部 道路管理課 補修班	班 長	第1回	比嘉 喜彦
				第2回	
2	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 道路整備班	班 長	第1回	高嶺 賢巳
				第2回	
3	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 計画調査班	班 長	第1回	宮城 武敏
				第2回	宮城 榮喜
4	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 維持管理班	班 長	第1回	安里 嗣也
				第2回	
5	幹事	沖縄県 うるま警察署 交通課 企画規制係	係 長	第1回	仲間 宗三
				第2回	
6	幹事	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	係 長	第1回	蔵本 和人
				第2回	道路保全管 仲松 徳修
7	幹事長	うるま市 都市建設部	参 事	第1回	目取真 康史
				第2回	
8	幹事	うるま市 企画部 企画政策課	課 長	第1回	大田 義浩
				第2回	
9	幹事	うるま市 市民部 市民協働課	課 長	第1回	登川 愛子
				第2回	
10	幹事	うるま市 市民部 環境課	課 長	第1回	喜屋武 良光
				第2回	
11	副幹事長	うるま市 都市建設部 都市政策課	課 長	第1回	浜田 宗賢
				第2回	
12	幹事	うるま市 都市建設部 道路公園課	課 長	第1回	知念 直樹
				第2回	
13	幹事	うるま市 都市建設部 維持管理課	課 長	第1回	仲村 光男
				第2回	
14	幹事	うるま市 経済部 商工観光課	課 長	第1回	松岡 秀光
				第2回	
15	幹事	うるま市教育委員会 指導部 指導課	課 長	第1回	高良 京子
				第2回	長間 清人

## 11-2-4 議事要旨

## (1) 第1回幹事会

- ① 開催日時： 平成30年2月13日（火） 13時30分～15時30分
- ② 開催場所： うるま市役所本庁舎 西棟3階 第1会議室
- ③ 参加者名簿

		所 属	職 名	氏 名
1	幹事	沖縄県 土木建築部 道路管理課 補修班	班 長	比嘉 喜彦
2	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 道路整備班	班 長	高嶺 賢巳
3	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 計画調査班	班 長	宮城 武敏
4	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 維持管理班	班 長	安里 嗣也
5	幹事	沖縄県 うるま警察署 交通課 企画規制係	係 長	仲間 宗三
6	幹事	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	係 長	蔵本 和人
7	幹事長	うるま市 都市建設部	参 事	目取真 康史
8	幹事	うるま市 企画部 企画政策課	課 長	大田 義浩
9	幹事	うるま市 市民部 市民協働課	課 長	登川 愛子
10	幹事	うるま市 市民部 環境課	課 長	喜屋武 良光
11	副幹事長	うるま市 都市建設部 都市政策課	課 長	浜田 宗賢
12	幹事	うるま市 都市建設部 道路公園課	課 長	知念 直樹
13	幹事	うるま市 都市建設部 維持管理課	課 長	仲村 光男
14	幹事	うるま市 経済部 商工観光課	課 長	代理 観光係長 仲村渠 安一
15	幹事	うるま市 教育委員会 指導部 指導課	課 長	代理 指導主事 糸数 昌

■議題（2）：うるま市の現状と課題について

	発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
①	中部土木事務所 道路整備班 高嶺幹事	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外の事例において、自転車走行空間を整備することで、自転車交通がどの程度増加したか把握しているのか。</li> <li>うるま市では、自転車ネットワーク整備後の自転車利用者数の目標値を立てているのか。</li> </ul>	<p>（うるま市経済部観光課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>瀬戸内しまなみ海道地域サイクリング客数の推計値 H27 325.853 人(1日平均 892 人) H24 174.935 人(1日平均 479 人) ※約 1.9 倍（増）</li> <li>うるま市物産協会ではレンタサイクル販売している。島しょ地域は、しまなみ海道の様に自転車を活用した観光振興を考えており、今後の目標値、整備効果についても今後検討したい。</li> </ul>
②	中部土木事務所 計画調査班 宮城幹事	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車利用のデメリットとして、坂道があがっているが、ハード整備のみでは坂道対策は困難である。ハード対策以外についても考えがあるのか。</li> <li>自転車通行レーンに駐車がある場合、勾配がきつく自力で登れない場合は歩道に避難するなど、自転車に乗る側に対して、ルールを周知して欲しい。</li> </ul>	<p>（うるま市経済部観光課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンタサイクルについては、市内等の企業と連携し電動アシスト自転車の導入を検討している。</li> </ul> <p>（事務局・うるま市経済部観光課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンタサイクルの貸出の際に自転車利用ルールの説明を行っている。 同様に一般市民に対しても、周知を図っていきたい。</li> </ul>

③	<p>沖縄県 道路管理課 比嘉幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車活用推進法と今回の計画に示す方針を整理して欲しい。</li> <li>・ 自転車の利用率増加、空間整備延長等の指標を考える必要があるのではないか。</li> <li>・ 自転車走行空間の整備においては、新設道路であればガイドラインに沿った整備形態は可能と考えるが、既設道路は道路拡幅等が発生し困難と考える。整備形態の検討においては、暫定形も含め検討して頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、整理する。</li> <li>・ 今回の計画は、観光が主目的となることから、観光部局を含め検討していきたい。</li> <li>・ 整備形態の検討においては、ガイドラインをベースにしたいと考えているが、道路管理者と十分に調整を行い、暫定形も含め現実的な形態を検討していきたい。</li> </ul>
④	<p>北部国道事務所 管理第二課 蔵本幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車の利用マナーについて、名護市では自転車走行空間の整備が進められているが、現在においても自転車の逆走や歩道通行が見られる。 うるま市においても自転車走行空間の整備を進めるのであれば、自転車利用のルールやマナーの周知を徹底して頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハード整備も重要であるが、ルール、マナー等のソフト的な教育も重要と認識している。関係者等と連携を図りながら対応したい。</li> </ul>
⑤	<p>うるま警察署 交通課 仲間幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 29 年の自転車に関連する事故は、うるま市内で 4 件、沖縄署管内で 8 件発生している。 自転車が安心して走行できる空間整備も必要と考えるが、幼少期からの自転車ルールの教育、自転車利用が多い中高生や社会人への自転車利用ルールの周知が必要である。</li> <li>・ 現在、島しょ地域での自転車利用が少ないことから、自転車に関連する事故は発生していないが、今後、観光客等の自転車利用者が増加した場合、自転車関連事故の発生が懸念される。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車が安心して走行できる空間整備を進める上で、同時に自転車の安全教育についても学校を含め関連部署と連携を図り対応していきたい。</li> <li>・ 観光客に対しては、観光部署と連携を図り検討していきたい。</li> </ul>

⑥	<p>沖縄県 道路管理課 比嘉幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の計画は、観光振興を主な目的としていることから、現段階から観光施設等への駐輪場整備を検討してもよいのではないかと。</li> <li>自転車活用促進法に基づいて、多様な視点で検討し、観光及び環境等の事業と連携し、予算確保及び自転車環境の整備を進めて頂きたい。</li> </ul>	<p>(うるま市経済部観光課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今月の下旬に勝連城跡から島しょ地域への自転車観光ツアーを計画している。現在、観光施設に駐輪施設（簡易）を設置し、観光施設への自転車利用者や観光客の調査を実施する予定である。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路のハード整備だけでは限界があることから、観光、環境等の部署とも連携し自転車利用の環境を整備したい。</li> </ul>
---	-------------------------------	---	---

■議題（3）：うるま市自転車ネットワーク計画の検討方針について

	発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
⑦	<p>北部国道事務所 管理第二課 蔵本幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内道路の整備形態については、路側帯の一部を自転車走行空間（混在）とすることは出来ないのか。</li> <li>自転車レーンの幅員について、事例で2.0mとしているが、ガイドライン上では1.5m整備でも可能ではないか。</li> <li>暫定形、完成形として整備形態を示しているが、新設道路であれば暫定形は必要ないのではないかと。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩道が整備されていない路線においては、路側帯を歩行空間とする必要があり、自転車は車道混在となる。</li> <li>ガイドラインでは1.5m以上と示しており、路肩幅を考慮した整備が必要と考えている。整備形態については、道路管理者と協議して検討する。</li> <li>ご指摘の図については、既存の4車線道路を段階整備例として示し、完成形を自転車道としている。</li> </ul>
⑧	<p>中部土木事務所 維持管理班 安里幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワークの対象路線は、参考資料1に示した路線として進めるのか。また、今後、自転車ネットワークの対象路線の追加はあるのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワーク（案）は、県道をベースに主な集落や観光施設等を考慮し検討している。ネットワーク路線の追加は可能と考えているが、現段階では、参考資料1に示すネットワーク（案）で進めていきたいと考えている。</li> </ul>

## (2) 第1回委員会

- ① 開催日時： 平成30年2月20日（火） 13時30分～15時30分
- ② 開催場所： うるま市生涯学習・文化振興センター ゆらてく 研修室1
- ③ 参加者名簿

		所 属	職 名	氏 名
1	委員長	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース	准 教 授	神谷 大介
2	委員	沖縄県サイクリング協会	理 事	森 豊
3	委員	一般社団法人 うるま市観光物産協会	副 理 事 長	瑞慶覧 朝成
4	委員	うるま市 勝連地区自治会 代表	自 治 会 長	牧門 司
5	委員	うるま市 与那城地区自治会 代表	自 治 会 長	宮城 政和
6	委員	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所	技 術 総 括	大城 太
7	委員	沖縄県 うるま警察署 交通課	課 長	上地 洋史
8	委員	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	課 長	渡久山 透
9	委員	うるま市 経済部	部 長	佐久川 篤
10	委員	うるま市 市民部	部 長	上門 はるみ
11	副委員長	うるま市 都市建設部	部 長	島袋 房善
12	委員	うるま市 教育委員会 指導部	部 長	志堅原 敦彦

## ■議題（2）：うるま市の現状と課題について

## ■議題（3）：うるま市自転車ネットワーク計画検討方針について

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
① 沖縄県 サイクリング協会 森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街地部の都市交通の一環としての視点と、郊外型の長距離サイクリング等の視点では、利用者の感覚及び整備方法は異なる。自転車道は、市街地の安全を考慮した整備となり、観光と郊外型の長距離サイクリングであれば、自動車と並走する速度であることから、自転車レーン程度の整備が良いと考える。 沖縄県内の自転車利用は、全国に比べ非常に低い中、本計画地域は理想を掲げ新しい取り組みができる稀有な地域であることを考える必要がある。</li> <li>・ サイクリングには、地域内を周遊する短距離型と、長距離の郊外型サイクリングがある。本ネットワーク計画は、うるま市の東部地域のみ対象としているが、隣接市町村（金武町、沖縄市）とを結ぶルートも、本計画において設定していただきたい。</li> <li>・ 自転車の安全性、左側走行を周知徹底するために、矢羽やブルーラインなどの表示を早急に整備して頂きたい。また、車道から歩道への乗り入れ部について、自転車の安全を考慮したフラットタイプの縁石を用いた整備としていただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドラインを踏まえ、うるま市東部地域にふさわしい計画を策定し、整備を行いたい。</li> <li>・ 東部地域だけでなく、金武町から沖縄市に抜ける、広域的な視点も含めて考えていきたい。</li> <li>・ 自転車通行ルールの周知徹底図るために、海中道路など重点路線から道路管理者、交通管理者と協議し整備を進めたい。</li> </ul>
② 神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県外において、自転車が集落内を低速走行する空間整備の事例などはあるのか。</li> <li>・ 集落内のサイクリングにおいて、自転車の走行速度を抑制する空間整備の視点も必要ではないかと考える。</li> </ul>	<p>(沖縄県サイクリング協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落内までブルーラインを引いている例はない。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画策定において検討していきたい。</li> </ul>

③	うるま市 教員委員会 志堅原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年にうるま市内において、中学生の自転車に関連する重大事故が 3 件発生しており、教育委員会の懸念事項の一つである。</li> <li>自転車ネットワーク整備後は、移動手段の限られた子どもたちによる自転車利用が増える予想される。このことから、本計画の検討方針において、子どもの自転車利用環境の視点を含めて頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本計画では、ソフト施策のひとつとして、自転車の安全教育の視点も含めたいと考えている。</li> </ul>
④	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用促進だけではなく、小中学生などの交通安全の視点も含めて検討していくのか。</li> </ul>	
⑤	一般社団法人 うるま市 観光物産協会 瑞慶覧委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツタイプの自転車では、自転車道は走行しづらく利用されていない。特に観光を目的として整備するのであれば、自転車道の整備はやめた方がよい。</li> <li>自転車走行空間整備の際、マンホールやグレーチングは走行空間には設けず、区画線などは滑りにくい素材としていただきたい。</li> <li>インバウンドの視点が少し抜けている。現在、那覇市からうるま市まで自転車で訪れる方もおり、観光施設までの距離等を示した自転車利用者の視点を考慮して頂きたい。</li> </ul> <p>現在、スポーツタイプの電動アシスト自転車も増えており、起伏のある地形でも抵抗は無くなるので、将来的な視点を含めて検討して頂きたい。</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うるま市の地域特性をふまえて地域にあった整備を進めたい。</li> <li>道路管理者、交通管理者及び占有者と調整を図りながら検討したい。</li> <li>サイン標示などについては市観光部署と連携を図りながら検討していきたい。</li> </ul>
⑥	沖縄総合事務局 北部国道事務所 渡久山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部国道では、ガイドラインに基づき自転車道を整備している。課題もあるがより良い整備を考えている。</li> <li>自転車ネットワーク整備において、現道用地内等の制約のある箇所においては、矢羽の整備が現実的だと考えられる。今後も利用者のニーズや関係部署等と調整し、自転車環境整備を進めたいと考えている。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広域的には国道も関連することから、北部国道事務所とも情報共有をしていきたい。</li> </ul>

⑦	うるま市経済部 佐久川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内のインバウンドは増加傾向にあるが、うるま市への観光は認知度が低い状況にある。今後、うるま市ではスポーツツーリズムの推進等を図っていきたいと考えており、大規模イベントの誘致の検討も行って行きたい。</li> <li>現状でも、県外の自転車競技選手が合宿に来ている。また、パラリンピックも社会的認知が高まっており、身障者も含めた利用も考えたい。</li> <li>電気自動車と電動アシスト自転車の観光利用を考えており、今年の実証実験など進める予定である。</li> </ul>	
⑧	うるま市 教育委員会 志堅原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワークの整備においては、高校の校門前まで整備することで、送迎交通の抑制、接触事故の防止及び生徒の体力づくりに繋がるのではないかと。</li> <li>また、利用頻度が高い箇所から整備を進めることで自転車の利用促進も図れるのではないかと。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり、本計画においても同様に考えており、通学先への路線については利用頻度が高いことが予想されることから、重点路線として検討したい。</li> </ul>
⑨	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の自転車ネットワーク計画は、東部地域を対象としているが、今後、ネットワーク拡大の際に、市内の高校へのルートについて検討して頂きたい。</li> <li>検討方針に交通安全の視点を含める際に、車両のドライバーに対する安全教育や自転車に対する注意喚起が必要である。</li> <li>観光を主な目的にネットワーク整備を進めるのであれば、サイクリング観光客、インバウンド、障がい者スポーツに対する対応など、多様な視点で検討進めて頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク拡大においても、市内の各高校までネットワーク整備を検討したい。</li> <li>自動車ドライバーへの安全教育を含めることが可能か検討したい。</li> <li>自転車利用において、多様な視点を含め検討したい。</li> </ul>

<p>⑩</p>	<p>沖縄県土木建築部 中部土木事務所 大城委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路管理者としては、ガイドラインに沿って整備していく必要があると考えるが、地域ニーズや利用形態も十分に考慮する必要があると考えられることから、国と協議し整備していきたいと考えている。</li> <li>勝連城跡周辺では、景観重要地区指定の動きがあると聞いていることから、当地域においては、自転車走行空間に標示方法について、配慮する必要があるのではないかと考えている。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝連城跡周辺は景観地区及び道路を景観重要公共施設として指定している。標示方法及びサインのデザインについては、今後立ち上げる景観協議会に諮る必要があると考えている。</li> </ul>
<p>⑪</p>	<p>沖縄県 サイクリング協会 森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛媛県では、すべての部局で自転車の施策を検討し、サイクル推進室を設けて集約している。その中で、高校生へのヘルメット支給、自転車通勤とそれ以外の通勤の健康状態や医療費などの指標を示すなどの施策を実施している。また、経済関係でも自転車をマーケティングするなど、全ての部署と結びつけて、活性化を図っている。うるま市においても、様々な展開の可能性であると考えている。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市の自転車利用推進体制、施策等について関係部署と連携を図りながら今後検討していきたい。</li> </ul>

⑫	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路は自転車 NW、緊急輸送道路、通学路など様々な考えがある中、無電柱化との重ね合わせの検討が必要ではないか。</li> <li>自転車利用は少ないというデータはあるが、近年はうるま市民の利用は増えている状況は感覚的にあるのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路の無電柱化は難しい。幹線道路については歩道があることから影響は少ないと思われる。</li> </ul> <p>(うるま市経済部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データはないが、増えている感覚はある。</li> </ul> <p>(沖縄県サイクリング協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国展開するスポーツショップデポ具志川店は、自転車の販売台数が全国上位に位置している。</li> </ul>
⑬	うるま市経済部 佐久川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の社会情勢（高齢化、AI の発達、自動運転など）を考えると、自転車のポジションは高くなる。将来の交通形態の変化を見据えて検討する必要がある。</li> <li>高齢者や交通弱者に対して、バス代を安くするだけの対策では対応できない。自転車は、健康や観光など様々な分野が絡んで取り組む必要がある。</li> </ul>	
⑭	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくり地域をめぐる自転車観光としては、好事例はあるのか。</li> </ul>	<p>(沖縄県サイクリング協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県外ではシマノが東京青山などで散歩と称した、街中をゆっくり回り、地域を体験する取組みがある。</li> <li>県内では首里や壺屋などの町中をめぐるポタリングの取組みも増加しつつある。</li> </ul> <p>(うるま市物産協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数でゆっくり自転車を楽しむ観光は人気である。</li> </ul>

<p>⑮</p>	<p>うるま市経済部 佐久川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内では、自転車のプロチームの合宿が行われ、さらに国内外からの自転車観光も増加している。本市では、自転車競技の誘致も考えており、市内における自転車利用は更に増加するものと予想され、自転車利用への対応について検討する必要がある。</li> </ul>	<p>(沖縄県サイクリング協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車利用者に対して、多言語表示等による案内も必要になる。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <p>ソフト対策として観光部署と連携し対応したい。</p>
<p>⑯</p>	<p>神谷委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回の協議会に向けて、検討方針へ安全に関する視点の追加、郊外型サイクリングを考慮したネットワーク、利用目的を考慮した視点、インバウンド観光客を考慮した多言語表示等について検討して頂きたい。</li> <li>また、ネットワーク図へ小中学校の表示を追加していただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の内容について、第2回協議会に向けて検討していきたい。</li> </ul>

## (3) 第2回幹事会

- ① 開催日時： 平成30年5月29日（火） 14時00分～16時00分
- ② 開催場所： うるま市役所本庁舎 西棟3階 第1会議室
- ③ 参加者名簿

		所 属	職 名	氏 名
1	幹事	沖縄県 土木建築部 道路管理課 補修班	班 長	代理 補修班 屋良 浩太
2	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 道路整備班	班 長	高嶺 賢巳
3	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 計画調査班	班 長	宮城 榮喜
5	幹事	沖縄県 うるま警察署 交通課 企画規制係	係 長	仲間 宗三
6	幹事	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	道 路 保 全 官	仲松 徳修
7	幹事長	うるま市 都市建設部	参 事	目取真 康史
8	幹事	うるま市 企画部 企画政策課	課 長	大田 義浩
9	幹事	うるま市 市民部 市民協働課	課 長	登川 愛子
10	幹事	うるま市 市民部 環境課	課 長	喜屋武 良光
11	副幹事長	うるま市 都市建設部 都市政策課	課 長	浜田 宗賢
12	幹事	うるま市 都市建設部 道路公園課	課 長	代理 街路区画係長 新垣 勝
13	幹事	うるま市 都市建設部 維持管理課	課 長	仲村 光男
14	幹事	うるま市 経済部 観光振興課	課 長	松岡 秀光

■議題（3）：うるま市自転車ネットワーク計画（案）

	発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
①	<p>北部国道事務所 管理第二課 仲松幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本来、自転車ネットワークを計画するにあたって、うるま市全域を自転車ネットワーク計画の対象にし、必要性の高い地域（東部地域）を優先的に整備するという流れになるべきではないか。</li> <li>・ 東部地域において自転車走行空間の整備優先度を定めることにより、うるま市全域の整備優先度を評価する際に整合性は図れるのか。</li> </ul>	<p>（事務局・都市政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画は、関連計画及び関連事業等を勘案し、うるま市東部地域を優先的に計画策定し、うるま市交通戦略策定後、うるま市全域へ自転車ネットワーク計画を拡大したいと考えている。</li> <li>・ うるま市において、東部地域と市街地の評価視点は異なるを考える。うるま市全域における整備優先度については、市内全体のネットワークの連続性等を考慮し検討する必要があると考えている。</li> </ul>

<p>②</p>	<p>うるま警察署 交通課 仲間幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車ネットワーク計画は、自転車の安全利用促進が目的と考える。その中で、整備優先重点路線の整備形態はほとんどが「自転車専用通行帯」となっており、安全を考慮すると「自転車道」とするべきではないか。</li> <li>・ また、市道部においては整備形態が車道混在となっており、自転車の安全利用促進を考慮すると前述と同様な考えとなるのではないか。</li> <li>・ 昨年度の沖縄県内自転車事故は、高校生が最も多く、次いで30代となっており、社会人に対する自転車の安全利用広報・啓発も必要ではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画では、観光地及び生活地域にネットワークを位置付けている。また、整備の優先度については、観光に重点を置き評価を行っている。</li> <li>・ 社会人への直接的な安全啓発は難しいと考えているが、子どもに対して積極的な安全教育を行うことによって、間接的に親への周知が可能と考える。さらに、チラシ・広報等での周知活動も行う予定である。</li> </ul>
<p>③</p>	<p>経済部 観光振興課 松岡幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車の安全利用として、観光振興課では、自転車観光イベントにおいて安全対策・教育を実施していく予定である。また、標識等の設置も取り組む予定である。</li> </ul>	
<p>④</p>	<p>沖縄県 道路管理課 屋良幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車走行空間選定について、ガイドラインの選定方法で、自転車道の速度基準は50km/hを超えると表現されていることから、自転車専用通行帯の選定基準は50km/h以下ではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画では、ガイドラインに示している「50km/h超」は、50km/hを含むと考えており、自転車専用通行帯の速度選定基準は40km/hと設定している。</li> </ul>

⑤	<p>都市建設部 道路公園課 新垣幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画の自転車ネットワーク対象路線のなかで、整備済となっている路線も最終形態まで整備するのか。</li> <li>本計画が策定した時点で、自転車走行空間の整備期間も示すのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備済路線については、将来的に自転車需要の増加や道路の整備が必要になった場合等において、最終形態へ整備出来ればと考えている。</li> <li>重点路線については、暫定形も含め、整備を進めて行ければと考えている。</li> </ul>
⑥	<p>北部国道事務所 管理第二課 仲松幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点路線は 2~3 年程度の期間で整備していくのか。また、重点路線については県道が占める割合が多いことから、県と調整を行い、目標を決めることが重要と考える。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暫定形については 3 年程度の期間での実施を考えているが、重点路線は県道を多く含むため、県と調整して進めて行ければと考えている。</li> </ul>
⑦	<p>中部土木事務所 道路整備班 高嶺幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊計・平良川線宮城島工区の区間において、自転車道空間利用の需要の整理はできているのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市としては今後、自転車イベントに力を入れていくため自転車交通量は増加する見込みだが、自転車交通量の具体的な検討はまだ行っていない。</li> </ul>
⑧	<p>沖縄県 道路管理課 屋良幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画では観光に重点を置いているが、補助金の支援が厳しくなるため、ガイドラインに沿った整備形態の選定を優先することが重要と考えられる。資料や説明についてもガイドラインを踏まえて説明してほしい。</li> </ul>	

<p>⑨</p>	<p>中部土木事務所 計画調査班 宮城幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車ネットワークに対して当該地域の住民との合意形成は図っているのか。今後、自転車走行空間整備により発生する交通規制について理解を得る必要がある。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島しょ地域に関しては、自転車観光の活性化についての要望があり協力は得られていると考えている。東部地域全体に施策等を周知しながら、合意形成は今後検討していきたいと考える。</li> </ul>
----------	-----------------------------------	---	---

## (4) 第2回委員会

- ① 開催日時： 平成30年6月5日（火） 14時00分～16時00分
- ② 開催場所： うるま市役所本庁舎 東棟3階 大講堂
- ③ 参加者名簿

		所 属	職 名	氏 名
1	委員長	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース	准 教 授	神谷 大介
2	委員	沖縄県サイクリング協会	理 事	森 豊
3	委員	うるま市 勝連地区自治会 代表	南 風 原 区 自 治 会 長	牧門 司
4	委員	うるま市 与那城地区自治会 代表	平 安 座 区 自 治 会 長	五嶋 眞智子
5	委員	沖縄県 土木建築部 道路管理課	課 長	代理 副参事 伊野波 盛哲
6	委員	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所	技 術 総 括	大城 太
7	委員	沖縄県 うるま警察署 交通課	課 長	友利 元和
8	委員	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	課 長	渡久山 透
9	委員	うるま市 企画部	部 長	天願 雅也
10	委員	うるま市 経済部	部 長	佐久川 篤
11	委員	うるま市 市民部	部 長	当間 重俊
12	副委員長	うるま市 都市建設部	部 長	島袋 房善

## ■議題（3）：うるま市自転車ネットワーク計画（案）

	発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
①	<p style="text-align: center;">沖縄県 サイクリング協会 森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車を活用した健康に関する計画について、中高生の利用も含め記載していただきたい。</li> <li>・ 現在、今治市では、高校生に対して自転車用のヘルメット支給、また、愛媛県では、アクティブシニアサイクリング活動が実施されサイクリングだけでなく交通ルールの指導も合わせて行われている。</li> <li>・ 学生や社会人へも広告等を取り入れ、自転車利用の活性化に取り組んでいただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘の件について、事例等を踏まえ、ネットワーク計画に取り込んでいきたいと考える。</li> </ul>
②	<p style="text-align: center;">神谷委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生は、県教育委員会管理となるため、県教育委員会との連携も重要になる。また、小・中・高 PTA との連携の文言を加えることで学校との連帯は取りやすくなると考える。</li> <li>・ 自転車を利用した健康については、策定の目的に含むイメージでよいか。</li> <li>・ また、健康に関しては、施策に関連する部局との連携も必要と考える。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康に関しては、目的に項目を整理したいと考えている。また、関連部局との連携も十分に図って行きたい。</li> </ul>

<p>③</p>	<p>沖縄県 土木建築部 道路管理課 伊野波委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワークに選定した市道について、どのような位置づけでルート選定をしたのか。</li> <li>現況の交通特性を把握していると示しているが、資料に記載されていない。</li> <li>道路管理者として、自転車走行空間整備にあたっては、自転車の将来交通量を示す必要があると考える。整備するにあたっては、ある程度の需要見込みがないと厳しい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワーク路線の選定は、対象地域の主な公共施設及び商業施設等を結ぶ路線を選定。集落内では、公民館、文化財、部落内の主要な幹線道路をネットワークに設定している。</li> </ul> <p>(神谷委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワーク対象路線で、各施設等を考慮し、自転車走行空間の整備優先度評価も行っている。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の件は、別途検討が進められている交通基本計画の調査において実施している。</li> </ul> <p>(神谷委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車交通量の将来推計は、算定方法は未だ定義されておらず難しいものとする。</li> </ul>
<p>④</p>	<p>神谷委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通基本計画における自転車交通の観測結果を、本計画の交通量に示していただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の通り、自転車交通量の結果を本計画へ掲載する。</li> </ul>
<p>⑤</p>	<p>神谷委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画において、整備形態の自転車道を選定する際の基準「50km/h 超」を 50km/h 以上と解釈しているのであれば、資料中の整備形態選定フローに「50km/h 以上」と文言を示す必要がある。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の通り修正する。</li> </ul>

⑥	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>車道幅員の改修は行わず、暫定が車道混在、最終形態が自転車専用通行帯の場合、コストを考慮すると初めから最終形態とした方が良いのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センターライン位置の変更が発生し、道路横断勾配等への影響も懸念されることから、段階的な整備としている。</li> </ul>
⑦	<p>沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課 渡久山委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料中に自転車に関して、走行と通行の二つの文言があるが、これは使い分けられているのか。使い分けられていない場合は統一するのが望ましい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走行として資料中の文言を統一する。</li> </ul>
⑧	<p>与那城地区 自治会代表 五嶋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海中道路は、自動車の走行速度が高く、大型車両の通行もあり、車線の幅員を狭め自転車道を設置することは危険と感じる。</li> <li>海中道路では、観光客の路上駐車が多く、自転車専用通行帯を設けるのであれば、路上駐車の対応についても検討する必要があると考えられる。</li> <li>また、近年、外国人観光客の車利用が増加し、車道を逆送する事例が発生し、その対策も検討する必要があると考えられる。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本計画において示している自転車道及び自転車専用通行帯は車線の幅員を狭めることは行わない。なお、海中道路を走行する自転車の安全確保を考慮し、大型車を扱う企業と連携を図りたい。</li> </ul> <p>(神谷委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の件に関しては、本計画だけでは決めかねる部分もあることから、交通基本計画と併せて検討を行っていくと良いと考える。</li> </ul>
⑨	<p>沖縄県 サイクリング協会 森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車走行空間の整備にあたっては、荷捌きスペース、観光客向けの駐車エリア及びバス停留所を考慮して頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、うるま市全域へ自転車ネットワークを拡大する際に、市街地部等において荷捌きスペースを考慮した自転車走行空間の検討が発生するものと考えている。</li> </ul>

⑩	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車専用通行帯の事例をみると、車が駐車帯として利用する可能性があることから、その対策を考えているのか。</li> <li>・ また、バス停留所において、自転車走行空間がどのように整備されるのか資料に示されていないことから、事例について追記していただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐停車規制に関して、今後、交通管理者と調整していきたい。</li> <li>・ ご指摘の件については、事例等を整理し、本計画へ掲載する。</li> </ul>
⑪	うるま市 都市建設部 島袋副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧与那城庁舎跡地へホテル建設が予定され、その中にサイクルステーション設置が含まれていると聞いている。計画の詳細発表は未定だが、確定次第、本計画へ追加して頂きたい。</li> </ul>	<p>(うるま市経済部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホテル建設の計画は、現在、案としての段階であり、詳細が決まり次第、事務局へ連絡したいと考えている。</li> </ul>
⑫	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひとつの事業者であればレンタサイクルの貸出と返却場所を変えることは可能と考えるが、管理者が異なる場合は、貸出先と異なる場所へ返却は困難であり、その際に官民による連携が必要と考える。</li> </ul>	
⑬	うるま市 経済部 佐久川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部地域の地形は起伏が激しいことから、電動アシスト自転車の貸出しについて記載して頂きたい。</li> <li>・ また、うるま市経済部では、市内企業と連携し、小型モビリティの貸出しを検討しており、今後、自転車も含め課金及び管理が重要になると考えるが、外国人利用者の増加も見込まれており、電子決済等を取り入れ、インバウンド効果を高めることが本市にとって重要と考える。</li> </ul>	<p>(神谷委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見については、交通基本計画との連携も考えられる。本計画に「多様なモビリティとの連携」等の文言を追加して頂きたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘の内容について、文言を追加する。</li> </ul>
⑭	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 3-3 及び参考資料 1 に示している自転車走行空間の整備工程について、整合性が図れていない。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘の内容について、修正する。</li> </ul>

⑮	うるま市 経済部 佐久川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の安全利用対策も重要と考えられ、地域内の自転車の速度抑制対策、夜間のライト点灯や反射材等による自転車自体の車からの視認性確保等を戦略的に検討して頂きたい。</li> </ul>	<p>(サイクリング協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車への反射板設置は整備上の義務になっている。当協会では、安全性を高めるために反射板の設置位置や個数の推奨を行っている。</li> <li>また、近年では安全性を考慮したグッズも充実してきており、これらの活用も重要になると考える。</li> </ul>
⑯	サイクリング協会 森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>うるま市職員においても、健康活動や自転車利用促進・安全の向上を目指すため、サイクリング活動を行う事を提案する。事例として、愛媛県では、職員グループと管理職グループに分かれ、一か月置きのサイクリング活動を行っている。</li> </ul>	
⑰	与那城地区 自治会代表 五嶋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄は車社会であり、送迎・出勤時の混雑が目立つ。また、平均寿命に関しても年々低下している傾向にある。指定範囲内での自転車活用を推奨することでこれらの問題は改善されるように感じることから、自転車ネットワークのこれからの展開に期待している。</li> </ul>	
⑱	神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>うるま市役所において、屋根付き駐輪場の設置はされているのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場は地下に設置している。</li> </ul>
⑲	沖縄県 土木建築部 道路管理課 伊野波委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の将来交通量の決定が難しいのであれば、パッケージとなる指標の作り方を調整できないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日程を調整し、ご相談したい。</li> </ul>

⑳	<p>沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 大城委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊計平良川線、勝連半島一周線等の計画道路は、今後、うるま市の自転車ネットワークに取り込む上で、検討段階からの協議が必要になるのではないかな。</li> <li>ネットワーク計画の見直しはどのくらいの頻度で行われていくのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定された計画道路については、平成28年度から県からの要請で、指定区間での整備形態の調整等についての調整・検討は行われている。</li> </ul> <p>(神谷委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見直しに関しては、10年に一度程度の戦略的な見直しは行われると考えられる。また、社会情勢等の影響による見直しも生じてくると考える。</li> </ul>
㉑	<p>サイクリング協会 森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車活用推進計画が、本年度の夏に閣議決定されることから、自転車活動における道路整備活動だけではなく、健康活動、安全活動、教育活動等が一気に進んで行くと考えられる。うるま市においても横の連携を強化し、先行的に自転車推進計画を進めていくことを期待している。</li> </ul>	
㉒	<p>神谷委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料に関してのご意見、ご修正があれば19日までに事務局へのご連絡をお願いしたい。</li> <li>健康に関する記述およびソフト面の施策については、事務局と委員長にて話し合い追加していきたいと考える。</li> <li>今後については、事務局と委員長にて資料の調整を行い、うるま市東部におけるネットワーク計画（案）の制定を一任させていただく。</li> </ul>	

## 11-2-5 協議会規約内容

(名称)

第1条 本会は、うるま市自転車ネットワーク計画策定協議会（以下「協議会」という）と称する。

(目的)

第2条 本市が文化・観光拠点として位置付けている東部地域（世界遺産勝連城跡を核とした、勝連半島、海中道路、島しょ地域）において「第2次うるま市観光振興ビジョン」の基本理念で掲げる「”住んで自慢”のまちづくり、”訪れて感動”を与える・うるま」を実現するため、地域住民や観光客の自転車利用環境のあり方について検討を行い、本市の将来都市像と整合のとれた自転車ネットワーク計画の策定及び自転車利用促進策の検討を目的とする。

(協議事項)

第3条 協議会は、次に掲げる事項について検討及び協議する。

- (1) うるま市内における自転車利用環境状況調査について
- (2) 自転車利用に関するニーズ調査及び分析について
- (3) 自転車ネットワーク計画の立案及び策定について
- (4) 自転車利用促進策の検討について

(組織)

第4条 協議会は「委員会」、「幹事会」で組織し、その構成は別表第1、別表第2のとおりとする。なお、行政職については、その者に異動があった場合は、後任者をもって充てるものとする。

(委員会)

第5条 委員会には委員長及び副委員長を置き、委員長に神谷大介琉球大学准教授、副委員長にうるま市都市建設部長をもって充てる。

- 2 委員長は委員会を招集し、会務を統括する。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 4 所用により委員会に出席することができない委員は、代理の者を出席させることができる。
- 5 委員長が必要と認めるときには、委員以外の者に委員会への出席を求めることができる。
- 6 委員会は協議会の決定機関とする。

（幹事会）

第6条 幹事会には幹事長及び副幹事長を置き、幹事長にはうるま市都市建設部参事、副幹事長にはうるま市都市政策課長をもって充てる。

- 2 幹事長は、幹事会を招集し、会務を統括する。
- 3 幹事長に事故があるときは、副幹事長がその職務を代行する。
- 4 所用により幹事会に出席することができない幹事は、代理の者を出席させることができる。
- 5 幹事長が必要と認めるときには、幹事以外の者に幹事会への出席を求めることができる。
- 6 幹事会は、委員会に付すべき事項についてあらかじめ審議し調整を図る。

（事務局）

第7条 協議会の事務局は、うるま市都市政策課に置く。

- 2 事務局は、協議会の運営に必要な事務を行う。
- 3 事務局は、必要に応じて関係者を招集した会議を開催することができる。

（設置期間）

第8条 協議会の設置期間は、「自転車ネットワーク計画」策定までとする。

（雑則）

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は委員長が定める。

附 則

この規約は、平成29年1月25日から施行する。

## 別表第1（第4条関係）

## うるま市自転車ネットワーク計画策定協議会

## 委員会名簿

		所 属	職 名
1	委員長	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース	准 教 授
2	委員	沖縄県サイクリング協会	理 事
3	委員	一般社団法人 うるま市観光物産協会	副 理 事 長
4	委員	うるま市 勝連地区自治会 代表	自 治 会 長
5	委員	うるま市 与那城地区自治会 代表	自 治 会 長
6	委員	沖縄県 土木建築部 道路管理課	課 長
7	委員	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所	技 術 総 括
8	委員	沖縄県 うるま警察署 交通課	課 長
9	委員	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	課 長
10	委員	うるま市 企画部	部 長
11	委員	うるま市 経済部	部 長
12	委員	うるま市 市民部	部 長
13	副委員長	うるま市 都市建設部	部 長
14	委員	うるま市 教育委員会 指導部	部 長

## 別表第2（第4条関係）

## うるま市自転車ネットワーク計画策定協議会

## 幹事会名簿

		所 属	職 名
1	幹事	沖縄県 土木建築部 道路管理課 補修班	班 長
2	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 道路整備班	班 長
3	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 計画調査班	班 長
4	幹事	沖縄県 土木建築部 中部土木事務所 維持管理班	班 長
5	幹事	沖縄県 うるま警察署 交通課 企画規制係	係 長
6	幹事	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	係 長
7	幹事長	うるま市 都市建設部	参 事
8	幹事	うるま市 企画部 企画政策課	課 長
9	幹事	うるま市 市民部 市民協働課	課 長
10	幹事	うるま市 市民部 環境課	課 長
11	副幹事長	うるま市 都市建設部 都市政策課	課 長
12	幹事	うるま市 都市建設部 道路公園課	課 長
13	幹事	うるま市 都市建設部 維持管理課	課 長
14	幹事	うるま市 経済部 商工観光課	課 長
15	幹事	うるま市 教育委員会 指導部 指導課	課 長